

第十七回句会 俳句

【高点句】

- ☆雪吊や百余の縄に乱れなく 一馬
☆競ふでもなく咲き揃ふ冬の梅 一馬
☆喧噪をしばし忘るる梅見かな 眞澄

【各自一句】

- ・雪搔を競う生徒の声高く 青蛙
・年の酒とまれ病の癒えてより 一馬
・蛇籠伏す池おだやかに冴返る 眞澄
・日脚伸ぶ夫婦それぞれそれなりに 千恵
・梅の香に誘はれレンズ近づけて 莫院
・頼杖の杖痺れたる風邪心地 静
・福寿草温き大地に顔出せり 撫子
・福寿草光を溜めて黄の淡し 明美
・結露拭く手を止め見入る冬満月 奈美
・瀬戸を皆厳かにして初日かな 茂
・同窓とあらば親しき御慶かな きさ
・鴨遊ぶ電車の音とビルを背に 安津子
・寒中の伊予路に春をよぶ祭り 童心

*以上、39句（3句ずつ13名）より、選句は13名により5句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句（同点の句がある場合は、第三位の句迄）

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然

記載された順に掲載）